



# 探究ニュース Access No. 34

発行日 令和6年3月22日

## 目次

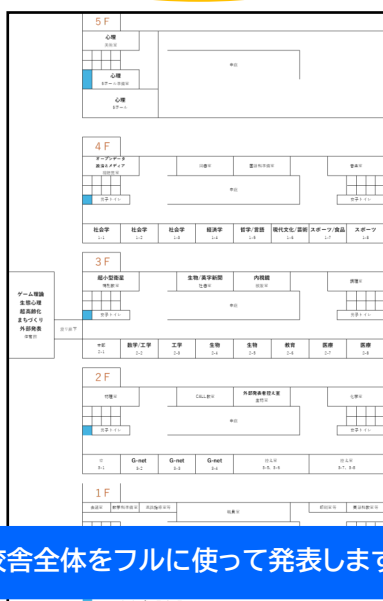
- I 令和5年度探究成果発表会開催
- II 仲間たちの活動報告
- III 来年度に向けて

## I 令和5年度探究成果発表会開催

3月16日(土)、令和5年度探究成果発表会が開催されました。2年生は1年間ゼミに所属して取り組んできた個人探究、1年生は夏休み明けからチームで取り組んだ課題解決プロジェクトの成果を、これまでご指導ご助言いただいた講師の先生方や、来年度入学予定の未来の後輩とその保護者の方をオーディエンスとしてお迎えして発表を行いました。発表やオーディエンスの皆さんとの質疑応答は緊張することもあったでしょうが、新たな気付きやこれからの探究のヒントになることも多く得られる貴重な経験だったと思います。

また、今回新たな取り組みとして、八王子市内中学校と都立成瀬高校の皆さんにも発表者として参加していただきました。中学生の皆さんの、高校生に全く引けを取らない探究内容、成瀬高校の皆さんの、それぞれに個性の光るテーマや堂々とした発表の様子に刺激を受けた東生も多かったのではないのでしょうか。ぜひ、今回の経験を今後の探究をはじめとする様々な活動に活かしていきましょう。

## 発表会概要



校舎全体をフルに使って発表します

●日時 2024(令和6)年  
3月16日(土)

●時程 9:00 開会の挨拶

9:20 【第1部】ポスターセッション

1・2年生全員によるポスター発表。

全体を3グループに分け、1グループ25分間で、オーディエンスが集まるたびに発表と質疑応答を繰り返します。八王子市内の中学校と成瀬高校の皆さんにも参加していただきました。

11:05 【第2部】口頭発表

2年ゼミ、1年プロジェクトの代表者・チームによるプレゼンテーション。パワーポイントを使い、会場に集まったオーディエンスを前に、15分間で発表と質疑応答を行います。

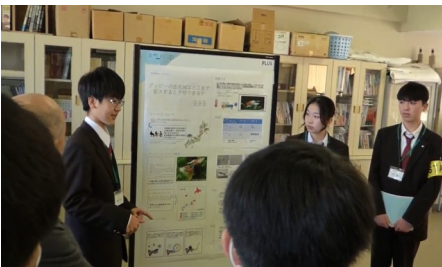
12:15 閉会の挨拶



## 48期(1年生)の声

### 〈1年生の発表を聞いて……良かった点、参考にしたい点、感想〉

- それぞれのグループが自らのプロジェクトでの学びを活かして専門的な知識も交えながら発表できていた。
- それぞれ調べたことを綺麗にまとめて繋ぎ合わせることで説得力のある、わかりやすい発表となっていた。グループの発表だったので緊張しすぎず、互いに協力し合って発表している感じが伝わった。多くの情報や実験を行って唯一無二の仮説、結果ができていたように感じた。
- 探究を通して、何回も迷ったり、考察したり、検証したりしたことが伺えてとても濃い内容だったし、面白かった。質問も難しいものが多かったけど、頑張って答えられていて良かった。
- 様々なプロジェクトにそれぞれ特徴があってとても興味が湧いた。発表者がただ説明するだけではなく、オーディエンスに問いかけをしているグループもあり、とてもいいなと思った。
- たくさんの面白いテーマがあって、選抜して見なければならぬのが大変だった。自分では思いつかないであろう課題解決法や仮説があって面白かった。
- フィールドワークやアンケート、インタビューなど、調査を活用することができていて素晴らしかった。
- 事前研究がしっかりできているところは、根拠のしっかりした考察ができていた。



### 〈2年生の発表を聞いて……良かった点、参考にしたい点、感想〉

- 実験内容がわかりやすく、評価基準が明確でデータとしての有効性が示されていた点。
- 専門的な背景を根拠に質問に回答していて、かつ、それを誰にでもわかるように噛み砕いて説明していてよかった。
- 聞き手がつまづきそうなところも詳しく説明していた。聞き手を誘うような、聞き手も巻き込んだ発表がとても良かった。
- ポスターが簡潔にまとめられており、詳しい説明は口頭でしている人が多く、とてもわかりやすかった。
- 実験の規模がすごかった。時間をかけて探究に取り組んでいるのは来年参考にしたいと思った。ポスターがとても見やすかった。
- 47期の発表は48期と比較すると、オーディエンスとして聞いている際、断然分かりやすかった。それはパワポ、発表の中で大事な点、伝えたい点をはっきり提示したり、繰り返し言ったりしているためであると思う。
- スライドが簡潔で、トークのレベルも1年生に比べてとても高かった。また、専門家へのアプローチをしている方が多く、研究結果の信頼性が高いと感じたので参考にしたい。
- 来年は自分たちも個人でこれをやるが、テーマ設定がまず1番難しいと思うので、テーマの決め方や仮説の立て方など参考にしていきたい。
- 自分の好きを追究したのだなということが伝わる発表だった。細かに調査が行われていてとてもわかりやすかった。私も誰が聞いてもわかりやすい発表になるよう、2年生での探究のときは、よく調査してまとめたい。
- オーディエンスの方を見て話していてスライドは付属(?)みたいな感じで発表していたのが凄かった。あっという間に発表が終わって自分が話に夢中になっていたことに驚いた。このような発表に近づくために来年は工夫していきたいと思った。
- 大学に繋がるような探究や、面白い探究など幅広くあって凄かった。来年自分も面白い探究をしたい。
- どの発表も、自身が興味を持ったことに全力で探究していたため、とても詳しくわかりやすいものでした。参考にします。



## 47期(2年生)の声

## 〈他の発表や他者の質問や指摘から「ハッ」とした、新たに気付いた、感銘を受けた点〉

- 口頭発表の子の発表で、スライドには必要最低限の図やイラスト、文字を表示してあとは噛み砕いて話す、という方法がすごく聞きやすかった。
- 自分の研究に対して、自信を持ってハキハキと発表していたこと。ほとんど原稿を見ずに発表していたこと。
- 探究した結果を実際今ある問題に提案として解決を試みる姿勢がみられる発表があり、調べて考えることで終わらず実際導き出した結論から行動に移すところまでできていると本来の探究活動としての意義があると感じた。
- みんな発表に熱意を込めていて、自分ももっと熱く語るべきだと反省しました。
- ユニークなテーマのものは、やっぱり惹かれる。発表を聞いてくれる人は、殆どが高校生なので、探究の中で「今私たちにできること」をもっと取り入れられれば良かった。
- 去年オープンデータゼミだったので覗いて見たら去年よりも現代にないアプリなどを作るためのオープンデータの活用などがされていて凄かった。
- 英字新聞の多岐に渡る取材内容に驚かされた。
- ジェンダー問題や関心を持った内容について強い熱意を持って探究していた点。
- 外部の中学生の「地上に届かない雨」という発表で、実際に雨の降る仕組みを簡略化した実験を行っていた。自分なりに工夫して実際に実験を行うところは参考にしたいと思った。
- 超小型衛星の分野で、自分が去年の探究Bでは考慮できなかった脆弱な点を回避する策をしっかりと練ってあったことに感銘を受けた。



GE-NET20 発表会も  
同時開催!



講評 東京大学教授 道上達男先生

## 〈探究全体を通じての感想〉

- 自分の将来を考える上でもとても役に立ったと思うし、何かを考えるということをここまで真剣に取り組めたのは自分の中で良い経験になったと思います。
- 探究では、研究をするにしても発表をするにしても計画が求められた。探究を進めていく中で得られた計画力は今後大きく役立つと思う。また探究成果発表会では発信力を得たことで大きく成長できたと思う。大切な能力を身につけることができ、探究に取り組んでよかったと思った。
- 自分で計画して、実験を繰り返し試行錯誤することが経験できた。探究という時間がなければ、一生やらなかったかもしれないことができた。
- 前半は問題提起ができない、考えても何も思いつかない、このテーマだと面白くなさそうと思っていたが、少しずつ軌道に乗ってくると楽しかった。チョウ、特にアサギマダラのがもっと好きになった。
- とても楽しかったです！探究を通して、自分の成長を感じたり、他の人たちからたくさんの刺激を得たりすることができました。また、探究のおかげで様々な人と交流できて、普段関わることの少ない先生方や同級生とのつながりができました。これは探究の大きな強みだと思います。
- この探究を通して、自分が社会についてどのように考えていたのかを知ることができた。きっとどこかにこの考えはあったのだろうが、それを言葉に、文字にすることで自分の本当の意見だったり考えを知れた気がしたのでよかった。
- 探究があったから自分が成長できたのではないかと思うこともたくさんありました！めっちゃくちゃ楽しかったです！！
- 自分の意外な一面を知る事が探究ではできます。・探究ロスがきそう。



## 発表会の裏側で・・・



会場の用品BOXや発表機材の用意も



当日も分担して仕事にあたりました



最後まで入念に打ち合わせ  
総務は連日居残って  
頑張りました！

パンフレットは担当の  
汗と涙の結晶！



## II 仲間たちの活動報告

2月11日  
〈八王子市 高校生による  
まちづくり提案発表会〉  
探究BまちづくりPJの  
メンバーが発表しました！

当日の様子がネットで見  
られます。  
「地域の課題と解決策を  
日テレNEWS」で検索！

新市長に直接プレゼン！



各校の代表による  
パネルディスカッション

〈東京都教育委員会表彰〉

台湾Team

Fall in 藍(ラヴ)

八王子ヒガシ広め隊

※自ら考え行動した活動が契機となり、その効果が波及し、他の生徒らに良い影響を与えた生徒に対する表彰です。



## III 来年度に向けて

48期の皆さんは、来年度いよいよ個人探究の探究Cが始まります。自分が取り組むテーマを探す第一歩として、春休み中にプロットシート作成に取り組ましましょう。先輩達も皆さんへのアドバイスとして、口を揃えてテーマ設定の重要性を挙げています。1年間楽しんで取り組むためにもぜひ今から自分の興味関心を探ってみてください。

〈47期から48期へのアドバイス テーマ設定編〉

- ここが1番大切。自分の興味のある、かつ調べてもすぐには答えが出てこないようなものが良い。
- 自分が今悩んでいることなどをテーマとして設定すれば、探究の中で自己理解も進むので良いと思う。
- 自分の好きなものや興味のあるものをテーマにすることは大事ですが、適切な探究方法が存在するかどうか考えてから決めたほうが良いと思います。あとから大変です。
- やりたいことがあるならそれが難しいことだとしてもやった方がよい。自分は大学レベルのテーマにしてしまっただけで本当に苦労したが、なんだかんで楽しかった。ガチでやればやるほど楽しくなるものだから面倒だと思う時もあるとは思いますが、とりあえず思考を巡らせてみて。
- 図書館に面白い本がたくさんあるから見てから決めるのもいいと思う。そこにあるということはその分野が調べられているということだから、資料が多い。あとは上の代の論文テーマから興味を持つのもよし！